

初めての縄文杉登山

宮浦小学校 五年 寺田 あつ基

「あつ基、縄文杉に登ってみるか。」

「と、お父さんからさそわれた。ぼくは迷いもなく、

「うん。登ってみたい。」

と、答えた。昨年こぞの夏は、太たいこ岩いわに登のぼった。

今年の夏は縄文杉に登る。数日前かずひまへから楽しみたのしみにしていた。

朝起あさおききると、あいにくの雨。登山の準備を

して四時に出発した。自然館前しぜんくわんまへからバスに乗

って六時にあら川登山口あらがわとうしやんぐちに着ついた。やは

り雨はふふっている。かるく体ていそうそうをしていよ

い上いじやう出発しゅつぱつだ。ぼくは、雨がふふっていたので登

りきれるか不安ふあんに思おもった。

トロッコ道を歩あいていると細こまい橋はしが何なんこも

あり少しこわく感かんじた。二時間にじじかんほど歩あくと大

がぶ歩道あぶほどうにとう着ついた。近ちかくの小屋こやで休やすけい

をして、再び歩あき出した。歩あいていると急いそな

登のぼり坂さかになり足あしが重おもくななった。ぼくは必かな死じに

歩いた。やがてウルソンがぶに着いた。中
をぐる。と一周してみると、

「あ、ハートが見えた。」

とうれしく声を上げた。あまりに雨がつどが
たので、お父さんが、

「あつ基、このまま登るか、引き返すかどう
する。」

と、言った。ぼくは、

「せ、かくここまで来たんだから登りたい。」
と答えた。

「よし、最後まであきらめずに登ろう。」
と二人で決めた。

再び縄文杉をめざした。歩いていると大王

杉や夫婦杉などの大きな杉があった。さらに

歩くと縄文杉が少し見えた。ぼくは、最後の
力をふりしぼ。こ歩く速度を速めた。

崖だ人を登り終えると、大きくこず。しり

とした縄文杉に会えた。ぼくはおもわず、

「登りきれてよかた。」

と、さげんだ。

雨の中の縄文杉登山は決して楽ではなが、
たが最後まであきらめずに登りきった達成感
を味ゆうことができた。この自然の美しさを
たくさんの人に知ってもらいたいと思う。